

HIROMICHI ISHIKAWA

経済学部教授。

1947年生まれ。早稲田大学大学院理工学研究科博士課程単位取得。「経営情報システム論」「経営科学」「マーケティング・リサーチ」担当。『情報活用空間の探求』、『経営情報の共有と活用』、『経営情報の活用モデル』（中央経済社）が経営情報システム研究三部作。趣味の領域では『落語と情報学』（青蛙房）を著している。



石川弘道

## 1 見えるもの・見えぬもの

見えるものは存在し、見えぬものは存在しないのでしょうか。見えぬものが存在し、見えるものが存在しないことはないのでしょうか。星は夜も昼も存在しますが、私たちに見えたり見えなかったりします。

そのことを金子みすゞは『星とたんぽぽ』で、

青いお空の底ふかく、  
海の小石のそのように、  
夜がくるまで沈んでる、  
昼のお星は眼にみえぬ。  
見えぬけれどもあるんだよ。  
見えぬものもあるんだよ。

と、唱っています。言われてみればなるほどと思いますが、昼の天空に星の存在を意識することはほとんどありません。

コンピュータの中のバーチャル・アイドルに恋をする若者はいても、その若者に恋される人は、バーチャルな空間には存在して

も、リアルな空間には存在しません。そのことを若者は、どのように認識しているのでしょうか。

## 2 見えぬものを見るために

これまでに一度や二度、望遠鏡や顕微鏡を覗いたことがあると思います。本当は大きいのに遠すぎて捉えにくい星の観察。近くに存在するのに微小すぎて識別できない細胞の観察。そこに何かが在ることがわかっているにもかかわらず、肉眼ではつきり見ることができない時、眼球というレンズのほかに人工のレンズを組み合わせて使います。それが望遠鏡や顕微鏡です。

人間は肉体的能力の拡大のために、このような道具や機械を作り、活用してきました。

私たちは、望遠鏡や顕微鏡を使う時、見えるもの、つまり対象物の存在を前提とします。未知の星を偶然に見出すということもありますが、望遠鏡を覗く行為には、何らかの目的があったはずで、その目的は、見えるであろうものの存在が前提となっ

ます。

## 3 目的と手段

秋の気配を風の音で感じるように、人間は目だけではなく、五感で何かを感知します。それでも、道具や機械の支援によって、五感の感度が高められます。

しかし、望遠鏡で細胞を観察しても、顕微鏡で天体を観察しても、期待した効果は現れません。道具や機械は機能が限られています。そこで、道具や機械の機能と活用の仕方を学ぶこととなります。

それでは、道具や機械の活用術を身につければ、それでよいのでしょうか。既に述べたように、手段も大事ですが、何のためにそれらを使うのかという目的が明確でなければなりません。

手段について学ぶことはそれほど難しいことではありませんが、目的となると簡単に学ぶことはできません。

## 4 マナブ・オボエル・サトル

学び方には、三つの段階があると、どこかで読んだ覚えがあります。それによると、マナブ・オボエル・サトルです。「マナブ」とは、マネブであり、真似るような勉強の仕方です。「オボエル」とは、自分で活用することもできる。「サトル」とは、教えられなくても自分で判断できる。というものです。

手段に関して学ぶ場合であれば、「オボエル」や「サトル」という段階まで至らず、「マナブ」であっても、特に問題はないでしょう。ところが、いかなる状況においても、目的を明確にすることができるためには、「マナブ」でとどまるわけにはいきません。「サトル」まで、進む必要があります。

大学で学ぶということは、教えられなくても自分で判断できるレベルまで到達するということです。

## 5 新しい花を求めて

青春時代の四年間、大学という時空間に

おいて、「マナブ」対象となるのは、教師と友と書物です。

教師は教えることが職業ですから、学ぶ種を蒔き続けています。ただ、その種が皆さんの望んでいる花や果実をつけるとは限りませんし、押し付けの種蒔きかもしれません。しかし、それらを排除しないで下さい。生物多様性が今日の地球環境を創りだしているように、あなたの将来に新たな可能性を付け加えることもあるのですから。

さらに、新入生の皆さんが、こんな花、こんな果実をつけてみたい、つまり、真似をしたくなるような教師や友や書物に出会ってください。友も書物も、そして教師自身も種なのです。この種は、自分自身で探し、自らが蒔き、自らが育てなければなりません。ただし、「マナブ」段階でとまっては、新しい花や果実は生まれません。「オボエル」や「サトル」という段階まで育ててください。それは、何代にもわたり交配させて新しい種を作り出すことです。

まだ見ぬ新しい花を咲かせることを目的に、さあ、学びましょう。

